



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第7号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第7号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1984, 30(7): 994-994

ISSUE DATE:

1984-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118210>

RIGHT:

泌尿器科紀要

第30巻 第7号 1984年7月

| | | |
|---|--------------|-----|
| ヒト膀胱移行上皮の構築的微細構造…………… | 高山 秀則・小西 平… | 857 |
| 泌尿生殖器疾患(とくに尿路性器癌)と血清 Tissue Polypeptide Antigen (TPA)…………… | 松島 正浩・ほか… | 869 |
| 泌尿器科領域における NAG: ことに水腎症における意義について…………… | 上田 公介・ほか… | 877 |
| 経皮的腎瘻造設術の経験…………… | 西野 昭夫・ほか… | 883 |
| 泌尿器科の手術におけるレーザーロッドメスの使用経験…………… | 和志田裕人・ほか… | 891 |
| Epstein-Barr ウイルス関連早期抗原発現誘導系による 尿中膀胱発癌プロモーター検出の試み…………… | 藤田 潤・吉田 修… | 897 |
| 血清 α -fetoprotein 値の上昇を伴った腎癌の1例…………… | 西村 泰司・ほか… | 903 |
| 副腎嚢腫の1例…………… | 諸角 誠人・ほか… | 907 |
| 膀胱全摘術後の膀胱癌骨盤内再発に対する手術療法の検討…………… | 高土 宗久・ほか… | 913 |
| 膀胱全摘・回腸導管造設時に心筋梗塞を起こし救命しえた1例…………… | 泉 武寛・ほか… | 919 |
| 巨大前立腺癌の1治験例…………… | 藤本 佳則・ほか… | 925 |
| 前立腺の Hemangiopericytoma…………… | 石黒 幸一・ほか… | 931 |
| 原発性女子尿道腫瘍…………… | 坂下 茂夫・ほか… | 935 |
| 会陰部癌転位の2例…………… | 内島 豊・ほか… | 941 |
| 両側特発性睾丸梗塞症の1例…………… | 原 信二・ほか… | 947 |
| 第33回 泌尿器科中部連合総会 | | |
| 特別講演 | | |
| 抗生物質の腎分画内濃度…………… | 藤田 公生… | 953 |
| シンポジウム | | |
| 副甲状腺機能亢進症の外科 司会のことば…………… | 大川 順正… | 957 |
| 副甲状腺機能亢進症の外科 臨床診断の問題…………… | 小出 卓生… | 959 |
| 副甲状腺機能亢進症の外科 部位診断の問題…………… | 岡田 裕作・ほか… | 963 |
| 副甲状腺機能亢進症の外科 手術手技の問題…………… | 新家 俊明… | 969 |
| 原発性副甲状腺機能亢進症と尿路結石…………… | 田島 惇・ほか… | 975 |
| 内分泌的環境からみた原発性 副甲状腺機能亢進症の特性…………… | 郡 健二郎… | 981 |
| 続発性上皮小体機能亢進症に対する 上皮小体全摘除術および自家移植…………… | 鈴木 孝治・ほか… | 985 |
| 腎性上皮小体機能亢進症の診断と外科治療…………… | 富永 芳博・ほか… | 989 |
| まとめ…………… | 園田 孝夫・大川 順正… | 993 |

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文 7 頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5 枚までとする。
 - (2) 和文原稿は B 5 版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田 または 山田・ほか：) と、2 語 (例：前立腺がん・PSAP) からなる running title および 5 語 (英文) 以内の key words を付す。
 - (ロ) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}、田中^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名 (全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名 (全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町 54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初 1 頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修 (主 幹)